

子ロバキッズひろば 個別クラス 支援プログラム

2月 衣服

法人理念	<p>✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。</p> <p>✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。</p> <p>✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。</p>			
営業時間	8時45分～17時	療育日時	<p>毎週火 9:00～10:00 / 13:30～14:30</p> <p>毎週水 14:30～15:30</p> <p>毎週木 13:30～14:30</p>	送迎：無
支援方針	<p>「衣服」をテーマに、ことばの発達を促します。</p> <p>洋服屋さんごっこやおしゃれごっこを通じて、様々な衣服に楽しみながら触れていきます。「これはいつ（季節）着る服？」なのか季節にかかわる質問を行い、季節への理解を深めていきます。また、衣服と職業の関連性について、着せ替えコーナーにある制服を着てみたり、トレジャーブックの作成などをしながら学んでいきます。</p>			

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	<p><b>上着、ジャケットを一人で着る。</b></p> <p>上着やジャケットを着る、上着をたたむ、くつ下をはく、靴を履くなど衣類の着脱を一人で行う。</p> <p><b>服のボタン、ファスナーをとめる。</b></p> <p>上着やチョッキのボタンをとめる、ファスナーの開閉、フォックをとめるなど生活に必要な行動を身に付ける。</p>
	運動・感覚	<p><b>様々な服を着ることで目に見えない体の部位も意識する。（背中・足裏・お尻など）</b></p> <p>おしゃれごっこや洋服屋さんごっこを通して、チョッキ、セーター、シャツ、ズボン、スカートなど様々な服の着脱をする。着せ替え人形にいろいろな服を着せ、体の部位を意識する。</p> <p><b>手先の巧緻性を向上させる</b></p> <p>スナップをとめる、ひも通し、ボタンをとめる、ファスナーの開閉など、あそびを通して行う。</p>
	認知・行動	<p><b>職種と衣服の関係性を知る。</b></p> <p>警察官の制服、医者白衣、料理人はコック帽、消防士や車掌さんなど、職業に応じた制服を知る。</p> <p>トレジャーブックを作成しながら、様々な職業の制服に触れる。</p> <p>制服や帽子、かばん、てぶくろなどの小物のお絵描きや塗り絵を楽しむ。</p>
	言語コミュニケーション	<p><b>ごっこあそびを通して応答的な言葉のやり取りを行う</b></p> <p>洋服屋さんごっこを通して、色々な洋服や小物に触れ、着ることを楽しむ。</p> <p>おしゃれごっこを行い、「これはいつ（季節）着る服？」などと季節に関する言葉のやり取りを行う。</p> <p>また、ミニ文学に取り組み、言葉あそびを通じて言葉のやり取りを行う。</p>
	人間関係社会性	<p><b>活動の参加の仕方など自分で選択し決める</b></p> <p>活動の順番を確認してから活動を開始する。その際に、「これはいまする」「これはあとでする」「今はしたくない」など意思を伝える練習をする。選択肢を提示することで、自身で選択して決める機会を設ける。</p>
歌・絵本など	<p>絵本「ぼくのいろいろなに」</p> <p>歌「てんやのおもち」「ひとつひばちで」「鬼のパンツ」</p>	
地域支援・地域連携（地域交流・園外活動）	<p>地域の洋服屋見学。近所の人にご挨拶をする。保育園児との交流をする。</p>	
移行支援	<p>就学先への配慮について検討する</p>	
家族支援	<p>児童発達支援事業所における自己評価 配布      モニタリング 個別支援計画</p>	
職員の質の向上	<p>・小児高次脳機能障がいについて    ・虐待、身体拘束の適正化のための研修    ・性暴力虐待研修</p> <p>・あそまな    ホンモノ体験、問い「プロジェクト活動」</p>	
主な行事等		